

6月最終週のフランスは猛暑、最高で37度の予報



6月19日（水）、フランス気象庁は、翌週からフランス全土で気温が上昇し始め、東部の一部の地域では最高気温が37度に達するとの予報を発表しました。一方、ブルターニュ地方（Bretagne）や大西洋沿岸地域では今週に引き続き雷雨が予想されています。

今回の猛暑のピークは6月26日（水）、北西部は雷雨

今週末は全国的に雷雨に見舞われる予想ですが、23日の日曜日から気温が上がり始め高気圧に覆われます。日差しが強くなり、気温は29～33度で、夜間も20度を超える地域がほとんどになりま

す。特にフランス南東部では最低気温が24度前後に高止まりする見込みです。

24日（月）の午後は最高気温が33～34度の暑い日になるものの、一方でブルターニュ地方やノルマンディー地方（Normandie）など北西部では雷雨が続き、気温も19～25度と例年より低くなりそうです。

25日（火）は、北西部を除き全国的に最高気温が35度前後に上昇し、夜間も22～25度となる模様です。

そして翌26（水）は、リヨン（Lyon）、グルノーブル（Grenoble）、ストラスブール（Strasbourg）などのフランス東部で、今年最も暑い36度まで上昇し、局地的には38度に達すると気象庁は予報しています。

パリでも最高気温は30度まで上がりそうです。

27日木曜日以降再び天気は崩れる模様

木曜日には南西部とコルシカ（Corse）をのぞいて再び雷雨が訪れ、フランス北部およびパリでは26度前後にまで下がると予想しています。

雷雨は週末まで数日間続くとの見込みです。

気象庁によると、今回の猛暑は断続的なもので、このまま猛暑の夏に突入するわけではないとされていますが、今後も不安定な天気が続きそうです。

執筆：マダム・カトウ

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

